



公益社団法人神奈川県助産師会主催

日時：3月5日(日) 13:00～16:00

会場：オンライン ZOOM 開催



産科救急症例オンライン研修会

講師：豊洲レディースクリニック院長

昭和大学医学部医学教育学講座 客員教授 土肥 聡 氏

参加者数：13名（会員7名、非会員6名）

主催者から

ディスカッションを中心とした研修で、常位胎盤早期剥離と分娩後の意識消失の2つの事例をもとに活発な意見交換が行われました。ディスカッションでは、提示された視点を中心に、受講された方々それぞれの立場から、「自分の施設であればどうするか」という意見が数多く出され、自施設以外の取り組みについて理解を深める機会にもなっていました。

事例以外にも、周産期救急についての知識を確認する〇×テストなどもあり、楽しく学ぶことができました。

また、知識の向上だけではなく、周産期救急のシミュレーション教育(J-CIMELS,ALOS,NCPR)や、全身管理のシミュレーション研修(BLS,ICLS 等)の受講、組織でのシミュレーションにより、周産期救急に対応できるチームトレーニングを行うことの重要性についても学ぶことができました。

参加者から

- 内容が、実践に活用出来るものであったため受講して良かった
- クリニックの仲間とも、事例を事前に検討する知恵をもらったりしてとても勉強になった。
- 症例検討ディスカッションでは参加者の立場や経験を踏まえた意見が出されてとても面白かった。
- 自分に足りないものに気づけた。
- 症例検討ディスカッションでは助産院だったり二次の産科だったり、参加者の立場や経験を踏まえた意見が出されてとても面白かった。
- 議題によっては時間が足りなく感じるものもあったが、短時間で各経験を踏まえた意見が出て勉強になった。欲を言えば、3次救急の助産師がグループには居なかったなので、意見を聞いてみたかった。